



2024～25 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：ステファニー A.アーチック (米国)

鹿屋西ロータリークラブ週報
WEEKLY REPORT
NEWS
<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>
ROTARY 第 2111 回



2024 年 10 月 28 日

◆会務報告

- 「第 43 回鹿屋市美展」の後援及び特別賞の下付について (依頼)
- 「西クラブの歌」に関するアンケートご協力をお願い
- クラブセントラルのマルチイヤー (複数年) 対応に伴うお願い
- RI 日本事務局財団室 NEWS 2024 年 11 月号
- My Rotary 登録・3ヶ年計画について
- 鹿屋市国際交流協会だより「グローバル No.31」の送付について
- 令和 6 年度「郷土に学び・育む青少年運動」強調月間の実施について (依頼)
- 海上自衛隊鹿屋航空基地開隊 70 周年記念日行事のご案内
日時：令和 6 年 12 月 7 日(土)10:45～
会場：海上自衛隊鹿屋航空基地
- バギオだより 2024 年 11 月号
- ロータリー財団月間 リソースのご案内
- 国際ロータリー第 2730 地区 2024-25 年度クラブ活性化セミナー開催のご案内
日時：2024 年 12 月 21 日(土)10:30～
場所：ウエルネス交流プラザ
- インターアクト韓国第 3661 地区国際交流訪問報告書提出のお願い
- 2025 年ロータリー規定審議会の立法案集について
- 2024 年 11 月からの襟章について
- ガバナー月信 11 月号について(近日中に郵送)
- 週報 …… 鹿屋・かのや東・串良・きもつき RC
- 11 月例会変更のお知らせ

[志布志 RC] 12 日(火)第 2 週目⇒例会無し

19 日(火)スポーツ例会予定

[志布志みなと RC]

6 日(水)⇒9 日(土) 第 16 回サッカー大会(準備)

しおかぜ公園 12 時集合 例会 12:30

13 日(水)⇒10 日(日) 第 16 回サッカー大会

しおかぜ公園 7 時集合 例会 12:00

会長の時間

会長 鶴丸秀治さん

ロータリー財団月間

11 月はロータリー財団月間です。提案したのはアーチ・克蘭フです。彼は、1869 年にペンシルベニア州の貧しい家庭で生まれました。12 歳で学校を辞めて仕事に就きましたが、後に実業家として大成功しました。フルートが得意でクリーブランド交響楽団でも演奏しており、数々のクラブに出向いては演奏を披露し、多くのロータリアンから信頼される人物になりました。1913 年にはクラブ会長を、1916 年には RI 会長を務めます。1917 年にアトランタで開催された国際大会で、克蘭フは「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」と提案し、これがロータリー財団の前身となりました。また、地区を作りガバナーを置き年に一度年次大会を開くことも提案しました。克蘭フが RI 会長を退任時、カンザスシティ・ロータリークラブが克蘭フに贈呈した記念品代の残り 26 ドル 50 セント現在の価値で 4 万円の寄付からスタートしました。1928 年に正式に「ロータリー財団」と改称され、管理委員会が創設され克蘭フは初代管理委員長として 1928 年から

次回プログラム	
11 月 18 日(月)	
卓話者：山崎一浩さん	
担当委員会：広報メディア・IT	
3分間スピーチ：野田敬一さん	
出席報告	会員数 (39)43 名
	出席数 27 名
	出席率 69.23 %

メイクアップ情報	
鹿屋	11月13日 (水) ホテルこばやし
かのや東	11月14日 (木) かのやグランドホテル
串良	11月11日 (月) セントパウル道の駅 理事会：例会無し
志布志	11月12日 (火) 大黒本店 第2週：例会無し
きもつき	11月14日 (木) 高山温泉ドーム 3RC合同例会18:30
南九州大崎	11月14日 (木) 高山温泉ドーム 3RC合同例会18:30
志布志みなと	11月13日 (水) ⇒10日(日) しおかぜ公園 第16回サッカー大会 例会12:30

鹿屋西ロータリークラブ

会長：鶴丸秀治
副会長：王谷英仁
幹事：假屋博行



例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212
事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp

1935年まで務めました。

1929年の世界恐慌や第二次世界大戦時には寄付金が集まらず、財団の資金を利用して奉仕し改めて財団の重要性を広めることになりました。

2022年度の財団の支出は3億3,000万ドル、現在のレートで約505億円となっています。「世界中でいいことをするために」は、この金額では足りないのかもしれませんが。日本では我々西クラブにも縁が深い千玄室さんが理事長をされておられます。皆さんの財団へのご理解ご協力をどうぞお願いします。

わかりやすい財団100周年の動画を見つけて編集しました。元映像が相当横長でしたので、サイズも変更しています。文字が入りきれないところがありますのでご了承ください。

それではどうぞご覧ください。



3分間スピーチ

前田 均さん

☆先週土曜日(26日)からプ

ロ野球日本シリーズとアメリカ・ワールドシリーズが開幕

☆横浜ベイスターズのキャッチ

ャー・戸柱選手は本校卒業生(内之浦出身)

☆今や、日本のみならずアメリカでも大人気の大谷翔平君は将来の夢を達成するために、81マスを埋めるマンダラチャート(目標達成シート)を作成していましたが、その中に「本を読む」という言葉が書かれていました。



大谷翔平選手の愛読書について

チーズはどこへ消えた/スペンサー・ジョンソン

成功への情熱/稲盛和夫

イーロン・マスクの野望/竹内一正

論語と算盤/渋沢栄一

そして、

運命を拓く/中村天風

一言で言うならば「壮大なメンタル書」です。

宇宙エネルギーが我々の生活に影響を与え、思想から理想、そして現実化へと進む過程で、そのエネルギーが運命を切り開くとされています。

本書は『天風瞑想録』を現代版にアレンジした

『運命を拓く』という内容です。

大谷選手が唯一アメリカに持っていった愛読書でもあります。

個人的に小生が好んでいる中村天風の言葉

※慌てるな、どんな場合でも慌てない人となるに

は、平素の言動をできるだけ落ち着いて行うよう、心がけるべきである。

※どんな名医や名薬といえども

「楽しい・面白い・嬉しい」というもの勝る効果は絶対はない。

感謝意!



会員卓話

深水嘉寿さん



米山梅吉

米山梅吉(1868-1946)は、日本の政治家、実業家、社会活動家で、特に国際奉仕団体「ロータリークラブ」の日本での設立者として知られています。東京・芝田村町でアメリカ留学を経て、帰国後にさまざまな事業をてがけ、成功を収めました。彼は社会貢献に強い関心を持ち、1920年に東京で日本初のロータリークラブを設立し、社会奉仕活動を推進しました。ロータリークラブ「超我の奉仕」を理念とし、彼の活動は日本国内外で高く評価されました。

来歴

1868年(明治元年)東京・芝田村町で生まれる。農家の子として誕生し、厳しい生活環境の中で育ちました。

1887年(明治20年)アメリカへ留学。

シカゴのマーシャル・フィールド商会で働きながら、アメリカのビジネスや社会制度を学びました。

この経験が彼の後の人生に大きな影響を与えます。

1894年(明治27年)日本に帰国後、さまざまな実業活動を展開し、財界で成功を収めます。

特に金融業や貿易業での成功が際立っています。

1920年(大正9年)日本初の「東京ロータリークラブ」を設立。ロータリークラブはアメリカ発祥の国際奉仕団体で米山はこの理念に共鳴し、日本の普及に努めました。東京ロータリークラブは、アジア初ロータリークラブでもあります。

1946年(昭和21年)78歳で死去。彼の死後も、ロータリークラブの理念は日本全国に広がり社会貢献活動において重要な役割を果たしました。

人物

1. 社会貢献の先駆者

米山梅吉は、ロータリークラブ「超我の奉仕」

(SERVICE ABOVE SELF)という理念に共感し、社会奉仕活動を生涯の中心に据えました。特に、貧困層の支援や教育の普及に力を注ぎました。

2. 国際的視野

彼の留学経験により、国際的な視野が生まれ、日本と海外の架け橋となる役割を果たしました。特にアメリカ文化やビジネスモデルを日本に紹介することに尽力しました。

3. 実業家としての成功

実業家としても有能で、銀行業や貿易で成功し、財を成しました。これにより、社会活動においても大きな財政的支援が可能となり、ロータリークラブの活動基盤を固めました。

4. 教育への情熱

教育を重視し、米山奨学会などの設立を通じて多くの若者に奨学金提供しました。特に、貧困や困難な状況にある学生たちが教育を受けられるよう支援することに熱心でした。

米山梅吉の人生は、ビジネスと社会貢献を通じて日本社会に大きな影響を与えました。

彼の理念や活動は、現代に至るまで引き継がれており、ロータリークラブを通じた社会奉仕伝統は今も続いています。

米山梅吉は、日本でのロータリークラブの設立者として、奉仕活動に生涯を捧げた人物です。

彼の奉仕活動は、多岐にわたり、社会的弱者の支援や教育の推進を中心に行われました。

彼の主な活動について説明します。

1. ロータリークラブの設立と普及

米山梅吉の奉仕活動の中で最も重要なのは、ロータリークラブの日本での設立です。

ロータリークラブ 1905 年にアメリカのシカゴで発足した国際的な奉仕団体で「超我の奉仕 (SERVICE ABOVE SEIF)」を理念としています。米山はアメリカ留学中にこの理念に触れ、帰国後その考えを日本に広めたいと考えました。

1920 年に、彼は日本初「東京ロータリークラブ」を設立しました。このクラブはアジアで最初のロータリークラブであり、米山は日本国内にこの奉仕の精神を広げようと尽力しました。東京ロータリークラブを設立したのは、社会貢献を通じて地域社会を豊かにすると言う理想を持っていたためです。

2. 奨学金制度の創設

米山は特に教育分野での支援に協力を注いでおり、貧困や困難な環境にある学生への奨学金提供に情熱を持っていました。彼の理念を体現するために、米山奨学制度が設立されました。この制度は、経済的な理由で教育を受ける事が困難な学

生を支援する事を目的としており、彼の死後もこの活動は続けられています。

米山奨学金は・「米山記念奨学会」・として後に発展し、特に海外からの留学生を対象に奨学金を提供しています。これは、国際的な視点を持つリーダーを育てることを目的としており、米山国際的な視野を反映しています。

3. 社会的弱者への支援

米山梅吉は、貧困層や社会的弱者の支援にも積極的に係わりました。ロータリークラブの活動を通じて、孤児や病気の人々、経済的困窮している家族への支援を行い、彼自身の財産や時間を惜しみなく提供しました。ロータリークラブの活動の一環として、地域社会での慈善事業やボランティア活動が展開され、特に震災や災害時の支援にも積極的に取り組んでいました。

4. 国際交流と平和推進活動

米山は国際的な視野を持ち、日本と他国の間での相互理解と平和推進を重視しました。ロータリークラブは国際的な組織であり、各国のメンバーと協力し合い、文化的交流を促進しながら、国境を越えた奉仕活動を展開しています。

米山はこのような国際交流を通じて、日本と世界の架け橋となるような活動を行い、戦争を防ぎ平和を実現するための取り組みを支援しました。特に教育文化の分野での交流を重視し、未来の世代が国際的な視野を持つことができるよう、奨学制度や教育プログラムを通じた活動を推進しました。

米山梅吉の奉仕活動は、社会貢献することを中心に据えたものであり、彼の人生は他者のために尽くすことに捧げられていました。彼の遺産は、今もなおロータリークラブを通じて受け継がれており、多くの人々に影響を与えています。

米山奨学金は、ロータリークラブの理念に基づいて設立された、海外からの留学生を支援するための奨学金制度です。米山梅吉の社会貢献と教育支援の精神を受け継ぎ、特に経済的な理由で学業継続が困難な学生を対象としています。

米山奨学金の背景

米山梅吉は、国際交流と教育支援に強い関心を持っていました。彼の死後、その志を継ぐ形で 1967 年に「ロータリー米山記念奨学金」が設立されました。この奨学金制度は、日本国内で学ぶ外国人留学生を対象とし、彼らの生活と学業を支えることで、国際的な視野を持つリーダーの育成を

目指しています。

米山奨学金の目的

米山奨学金の主な目的は以下の通りです。

1. 経済支援

経済的な理由で日本での学業を続けることが困難な留学生に対し、奨学金を提供し、安心して学業に専念できる環境を整えます。

2. 国際交流の促進

留学生と日本の地域社会との交流を深め、相互理解を促進します。奨学生はロータリークラブの活動にも参加し、地域社会と積極的に関わりを持つことで、国際的視野を広げていきます。

3. 世界平和と友好の促進

奨学生が帰国後、自国と日本の架け橋となることを期待し、世界平和と友好関係の促進に寄与することを目指しています。

特徴と活動

1. 奨学金の支給

毎年、多くの留学生が選ばれ、学業支援金が提供されます。この奨学返還義務がないため、学生たちは経済的負担を感じることなく学業に専念できます。

2. ロータリークラブとの関わり

奨学生はロータリークラブの例会や社会奉仕活動に参加する機会があり、日本の社会に積極的に関わることが奨励されています。これより、留学生と地域の日本人との相互理解が深まり、文化交流が進みます。

3. 卒業後のネットワーク

卒業生（米山学友）は帰国後もロータリークラブのネットワークを通じてつながり、母国と日本の関係を深める役割を果たしています。これにより、国際的な友好関係が維持され、卒業生同士のネットワークも強化されています。

米山奨学金の影響

米山奨学金は、ロータリークラブの精神を引き継ぎ、これまでに多くの留学生を支援してきました。奨学生たちは学業を通じて自国の発展に貢献し、日本との友好関係を築くため重要な役割を果たしています。奨学金を受けた留学生は、学業の成功だけでなく、文化や知識の交流を通じて社会全体に大きな影響を与えています。

この奨学金制度は、日本における外国人留学生支援の一環として、今後も重要な役割を担い続けると考えられます。

「ロータリーの友」11月号の見どころ

- 『ロータリーの友』2024年11月号、見どころは、
- 特集 ロータリー財団月間「ロータリー財団 始まりと今」
- 特集 世界インターアクト週間「ここがすごい！日本初インターアクトクラブの強み 仙台育英学園インターアクトクラブ」
- 「私のロータリーのマジック①」（ロータリー公共イメージコーディネーター共同企画）
- 「SPEECH」
「今だから津田梅子そして、サファイアの指輪と私」
津田塾大学学長・同大学学芸学部英語英文学科教授高橋裕子氏の講演趣旨
- 「この人訪ねて」
七條公光子さん（高松北 RC）
などなど



▲ガバナー月信はこちらから



◆スマイル報告

〈 2 件 〉

- 地区大会お疲れさまでした。参加予定しておりましたが行けなくなりキャンセルしましたところ、新山田さんが登録料を取り戻してくれました。スマイルします。失っても仕方ない登録料なのに、しっかり交渉して下さった仕事ぶりに拍手です。…………… 王谷
- 初めての地区大会、26日のみでしたが勉強になりました。假屋幹事、配車計画をはじめ諸々の準備ありがとうございました。宗りに会えなかったのが残念です。深水さん、頂いた動画は宝物にします。…………… 一村
- 本日の米山 BOX スマイルは 1,333 円です。

累計(一般) 141,000 円
 (財団) 30,024 円 (米山) 100,156 円

***** ありがとうございました *****



10/24 (木) 第2回学習会にて

週報担当：椎本

